

事業報告書

事業名	ICTを活用した研修提供体制基盤充実事業
事業の実施状況	<p>1. コンテンツの開発（制作） 時宜を得たテーマのものを6本、社会福祉士として共通に必要な専門事項を4本、合計10本の講座を制作した。</p> <p>2. 委員会の開催 e-ラーニングコンテンツの制作の検討等を行うため、8回の生涯研修制度企画・運営委員会を開催した。</p> <p>①2022年4月17日：7名 ②2022年5月15日：7名 ③2022年6月19日：5名 ④2022年7月17日：5名 ⑤2022年8月21日：6名 ⑥2022年9月4日：6名 ⑦2022年11月20日：7名 ⑧2023年1月22日：5名</p> <p>3. e-ラーニング講義の配信 (1) 配信期間 作成でき次第システムにアップロードし、通年配信（365日24時間配信）を行う。 (2) 視聴者数（会員でない社会福祉士、一般を含む） 2023年3月17日現在 ログイン者数は約10,600名</p>
事業の成果	<p>1. e-ラーニング講座のコンテンツの企画・制作 次の10本のe-ラーニングコンテンツを作成した。</p> <p>(1) 時宜を得たテーマのもの（6本）</p> <p>①司法に関する基礎知識 ②被害者支援について ③2022年度児童福祉法等の改正について ④障害者の意思決定支援 ⑤第4次犯罪被害者等基本計画について ⑥依存症（アディクション）における対象者理解と家族の支</p>

	<p>援</p> <p>(2) 社会福祉士として共通に必要な専門事項 (4 本)</p> <ul style="list-style-type: none">① システム理論② ソーシャルワークとしての調査と研究－ソーシャルワーク・リサーチの考え方と進め方③ ソーシャルワーク実践のための量的研究法－実践編④ ソーシャルワーク論 <p>2. e－ラーニング講義の配信</p> <p>制作したコンテンツについて、通年配信 (365 日 24 時間配信) を行った。</p> <p>e－ラーニング講座の 2021 年末のログイン状況は約 8,600 名であったが、2022 年度末のログイン状況は約 10,600 名であった。ログイン状況は毎年増えており、コロナ禍においても、社会福祉士の継続的な学びを支援することができた。</p>
--	--